

2025 年1月 31 日

各位

三井住友信託銀行株式会社

グリーンローンの契約締結について
(株式会社UACJ)

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長: 大山 一也、以下「当社」)は、株式会社UACJ(代表取締役: 田中 信二、以下「UACJ」)との間で、ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)(※1)等が策定した「グリーンローン原則」および環境省が定めた「グリーンローンガイドライン」(以下、総称して「グリーンローン原則等」)に則したシンジケーション方式の「グリーンローン」のアレンジャーに就任し、融資契約(以下「本件」)を締結いたしました。

グリーンローンは、国内外のグリーンプロジェクトに要する資金を調達する際に用いられる融資です。調達資金の使途がグリーンプロジェクトに限定されるほか、資金の追跡管理や融資実行後のレポートイングを通じ、透明性が確保されるなどの特徴を有しています。

UACJは、2024 年 11 月に「グリーンファイナンス・フレームワーク」(以下、「本フレームワーク」)を策定し、2024 年 11 月 26 日付で株式会社日本格付研究所(代表取締役社長: 高木 祥吉)より、グリーンローン原則等に適合していることについて第三者評価(※2)を取得しています。なお、本件は本フレームワークに基づくグリーンローンの融資契約です。

また、当社は、本件をわが国の気候変動対応に資する投融資と判断し、日本銀行の「気候変動対応を支援するための資金供給オペレーション」(通称: グリーンオペ)による資金供給を受ける予定です。

当社では、グリーンローンなどのサステナビリティに関するソリューションの提供により、SDGs 達成に資するお客さまのさまざまな事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指していきます。

<UACJについて>

UACJは、「素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。」を企業理念、「アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界へ。」を目指す姿として掲げています。グローバルに事業を展開するアルミニウム総合メーカーとして、素材の力を引き出す技術で、飲料缶、自動車、IT 機器、空調、航空宇宙産業などの幅広い分野にアルミ素材を供給し、人びとの暮らしや産業を支え、持続可能で豊かな社会の実現に貢献することを目指しています。

<本件(シンジケートローン)の概要>

実行日	2025 年1月 31 日
アレンジャー兼エージェント	三井住友信託銀行
組成金額	40 億円
資金使途(グリーンプロジェクト)	使用済飲料用アルミ缶(UBC)(※3)を分離・溶解一貫処理する設備及びそれらを設置するために必要な建屋

＜資金使途(グリーンプロジェクト)の概要＞

UACJは、本件により調達した資金を、使用済飲料用アルミ缶(UBC)を分離・溶解一貫処理する設備及びそれらを設置するために必要な建屋に充当します。

これらの設備の稼働により、UBC 加工とアルミ板製造が効率的に連動することで、UBC 使用量を増やすことができ、より効率的な水平リサイクルが可能になります。年間 4.8 万トンの処理能力によるアルミニウム資源循環の拡大により、Scope3(原材料)における CO2 排出量が年間約 12 万トン削減する見込みです。

(※1)ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)

欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60 ヶ国以上に属する 700 以上の機関が加盟しています。

(※2)グリーンローン原則等への適合性についてのグリーンローン評価

株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

(※3)使用済飲料用アルミ缶(UBC)

使用済飲料缶(Used Beverage Can)を指します。

以 上